

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成31年3月13日発行

とっといの社会教育がますます発展するために！！

平成31年2月27日（水）に**社会教育主事講習**が終了しました。最終日は2つのグループが約5日間かけて立案した社会教育事業をプレゼン発表しました。今回は社会教育委員に提案するという設定で約30名の参加者を前に発表しました。両グループともに青少年教育の充実をテーマに県内市町村をモデルにして現状や課題を洗い出し、事業を立案しました。事業の概要を紹介します。

8人の受講生は『チェンジ』を合い言葉に過ごしました。自分に変化を起こす！？



エビデンスを示し、事業を考えているね～！
実現させてほしいね♪



事業名：大山もりあげ隊

■目標

地域で活動する青少年の人材育成をするとともに、青少年同士や地域との相互交流を促進し、大山町で暮らすことに誇りを持つ子どもを増やす。

■内容

中高生による企画会議を開き“大山もりあげ隊”を立ち上げる。文化祭への出店や地域行事のボランティア参加など地域と密着した取組をとおり、地域の活性化につなげる。並行して高校生サークルを設立し、地域の魅力を発信する。



地域が盛りあがるよ～！



事業名：103（いわみ）子どもサミット

■目標

地区の代表児童生徒（ジュニアリーダー）が岩美町のために自分たちができることを話し合うことを通して、岩美町に愛着を持つとともに、まちづくりに貢献していこうとする態度を養う。

■内容

岩美町の4地区公民館ごとに小中学生が集まり、町の未来像を描き、それを達成するために取り組むことをディスカッションする。同様に岩美高校でも行う。その後、103子どもサミットを開催し、小中高生の代表が各地区で取り組んだ活動の報告、成果や課題についての意見交換をする。



地域の大人、中学生、大学生が共に語り合いました！

平成31年2月8日（金）に伯耆町立溝口中学校にて西部地区中学生キャリア教育等支援事業「CHA3（チャチャ）プログラム」が行われました。この事業は、キャリア教育の一環で地域の大人、中学生、大学生が働き方や生き方などのテーマについて自由に話し合い、中学生にとっては多様な価値観を知り、少し先の目標を持つことを、地域の大人や大学生にとっては地域の学校の教育に対する興味・関心を高めることを目的としています。

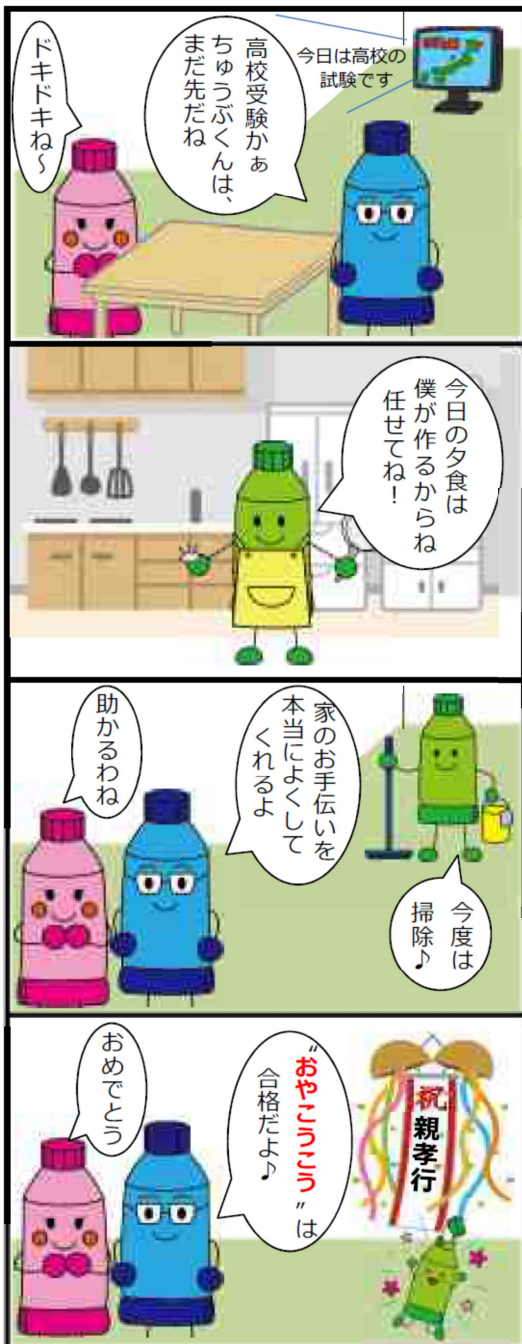
中学生が地元住民と出会う（『チャンス』）ことで、自分を『チェンジ』し、様々なことに『チャレンジ』することを期待しています。来年度は県全体でも取り組む予定です。

和やかな雰囲気です語り合います



ちゅうぶくん

～ 高校受験 ～



《感想より》

※一部抜粋

■地域の大人

- ・中2、大学生等、様々な考え方を聞く機会が持てて良かった。自分にとって思わずでも自分の人生を振り返ることができ、嬉しく、楽しいことだった。
- ・子どもの進路学習として、とても良い取組と思う。
- ・中学生や大学生がとても前向きに人生を歩んでいることが感じられて良かった。

■大学生

- ・いろいろな方の話を聞かせてもらい、自分の中の考えを少しチェンジできたように思う。
- ・中学生と関わるだけでなく、地域の方とも話することができ、自分の今後を考えるきっかけとなった。

《中学生のアンケートより》

中学生は将来や進路、自分自身の行動など15項目にわたるアンケートを実施前と後の2回行いました。実施後の子どもたちの意識に肯定的な回答が多くあり、明らかに変容が見られました。



最後は全員で「チャチャポーズ！」

【あとがき】

私も「CHA³プログラム」に参加した一人ですが、私の家族が知らないことや今まで誰にも話したことがないことまでじっくり話してしまいました。それほど場の雰囲気が良く、自分を語ることのできるひとときでした。

中部教育局 社会教育担当 西村 信彦
 電話 0858-23-3253
 ファクシミリ 0858-23-5203
 電子メール nishimuran@pref.tottori.lg.jp